

## 「入学者の受入れに関する方針」(アドミッション・ポリシー)について

(物 理 学 科)

現代社会を支える科学・技術は、近代物理学をもとに発展してきました。物性物理学を基礎にコンピュータの性能が飛躍的に向上し、超伝導現象もリニアモーターカーなどにより身近なものになろうとしています。また、携帯電話やデジタルカメラの記憶素子には量子力学が応用され、カーナビゲーションで用いられているGPSには相対性理論も使われています。

星や宇宙の始まりや終わりといった遠い過去や未来の解明、そして、地球環境問題の解決が叫ばれるなか、クリーンな恒久的エネルギー源としての核融合の実現といった近い将来の問題の解決にも物理学の知識や理解は欠かせません。現在では、物理学は、生命や経済活動にまで対象の幅を広げ、科学・技術の発展のための基盤を築いています。

本学科では、基礎から応用まで多彩な選択科目を設置し、少人数制の演習・実験などで実力をつける指導を行い、自然を探求し、基本原理を理解し、課題の創生と解決能力を併せ持つ、社会に貢献できる人材を育成します。また、所定の単位を修得することで、理科・数学・情報の3科目の教員免許が取得できます。

物理学科では、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1) 物理学に対する強い関心と意欲を持っている
- (2) 粘り強く問題を考え抜く思考力と行動力を持っている
- (3) 高度な科学・技術に興味を持ち、それを学びたいと考えている
- (4) 物理学の理解に必要な基礎学問である数学、理科を深く論理的に理解している
- (5) 高等学校における各種の学習内容を幅広く理解している
- (6) 自分の考えを的確に伝えるため、文章や言葉で表現する力を身に付けている
- (7) 基本的なコミュニケーション力を身に付けている